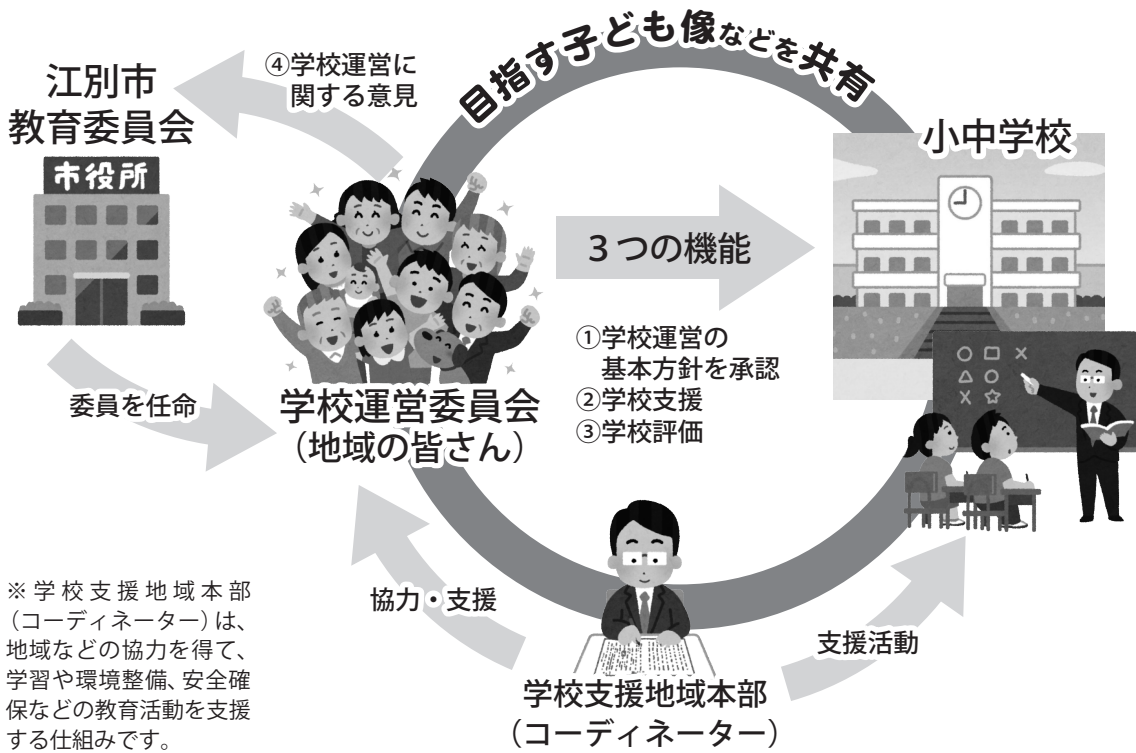


地域とともにある学校づくり えべつ型 コミュニティ・スクールを初導入



※ 学校支援地域本部 (コーディネーター) は、地域などの協力を得て、学習や環境整備、安全確保などの教育活動を支援する仕組みです。

具体的には何を?
保護者や地域住民などで構成される「学校運営委員会」

江別市教育委員会は、この仕組みを市内小中学校で整え、「児童生徒のために」を最優先に地域とともにある学校づくりを進めていきます。

地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みをもった学校のことです。

学校にきて子どもたちを支援していただき、教育や学校運営について話し合うなど、学校と地域が目指す子ども像を共有しながら、学校・家庭・

コミュニティ・スクールとは

地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みをもった学校のことです。

江別市教育委員会は、江別市の伝統 (教育のまち・オール江別で子どもを育てる) を基盤として、これまで以上に学校と保護者、地域住民が一体となって地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるため、平成29年度から市内小中学校にえべつ型コミュニティ・スクールを初めて導入しました。

江別市では、教職員や、地域住民、保護者など、学校や子どもの教育に関わるさまざまな立場の方と協力して教育に取り組んできました。

江別市では、教職員や、地域住民、保護者など、学校や子どもの教育に関わるさまざまな立場の方と協力して教育に取り組んできました。

学校運営委員会の主な仕事は以下の4つです。

- ①学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校評価に関すること
- ③学校支援に関すること
- ④学校運営に関して意見を述べる

地域と学校が、目指す子ども像を共有し、さまざまな取り組みを進めます。

を設置し、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を出していただきます。

を設置し、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を出していただきます。

を設置し、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を出していただきます。

この取り組みをさらに充実させるために、えべつ型コミュニティ・スクールの展開していきます。

この取り組みを実現するためには、皆さんの理解と協力が必要になります。学校支援や行事、子どもの見守りなどに皆さんの力をぜひお貸しください。



これまでの活動例 / 市内では、これまで子どもたちのために各学校や地域で、学習支援のほか、ボランティアによる見守り隊や土曜広場、おやじの会などの活動が行われています。

「えべつ」子育てアプリ

育児の記録や相談が
スマホでカンタンに

利用料金
無料

全国 30 以上の自治体で導入されている(株)エムティーアイの電子母子手帳アプリ（無料）を活用し、スマートフォンなどに子育てに関する情報やイベント案内などを配信するサービスをスタートしました。

また、同社のアプリ利用自治体として全国で初めてとなる、医師や心理カウンセラーへの無料 web 相談機能も備えています。



全国初の無料 web相談機能



いつでも無料で相談できる！

子育てに関する悩みなどを、現役の医師や心理カウンセラーへ無料で web 相談ができます。

カラダのお悩み相談

「おなかや胸の張りが気になる」「産後の回復が遅い」「子どもの湿疹や急な発熱」など、心配な体の悩みを手軽に相談できます。

ココロのお悩み相談

「親になることが不安」「しつけが上手くいかずイライラ…」などの悩みも、専門家にこっそり相談できます。

アプリのダウンロードはこちらから

App Store



Google Play



検索は「電子母子手帳」で

電子母子手帳



(詳細) 子育て支援室 子育て支援課 ☎ 381-1408
サービス URL = <https://www.mchh.jp/login>

使って便利な機能がたくさん

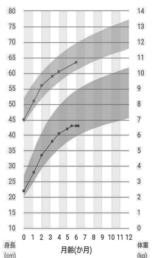
地域の子育て情報が届く！

子育てサービス情報やイベント案内など、市から子育て関連のお知らせが届きます。



大切なお子さんの記録をきれいに残せる！

お子さんの成長日記・写真・健診データなどをスマホやパソコンから記録できます。発育グラフも自動で生成されるので、成長の様子がひと目でわかります。写真の劣化や紛失の心配がなく、育児の記録を残せます。



成長目安が確認できる！

お子さんの成長に関するイベントを記録することで、一般的な成長目安と比較ができます。



家族みんなで共有できる！

記録したデータ(写真・健診記録など)は、家族みんなで共有できます。離れて暮らす両親もお子さんの成長を見守ることができます。

